

# 事業実績評価(令和4年度分)

<掲載事業について>

ページ	事業名	区分
1	計画的な財政運営	総合計画 共-2-(1)
2	新地方公会計制度の導入・推進	総合計画 共-2-(4)
3	魅力ある情報発信	総合計画 共-3-(1)
4	駅周辺の活性化	総合計画 2-1-(2)
5	一圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
6	穂積駅周辺地域の商業活性化	総合計画 5-2-(1)
7	地域資源のブランド創出・魅力向上	総合計画 5-3-(2)
8	瑞穂市中山道団子化構想事業	総合戦略
9	確かな学力を育成する教育の推進	総合計画 4-2-(4)
10	教職員の指導力向上の取組の充実	総合計画 4-2-(6)

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

## 瑞穂市

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

② 財政運営

(1) 計画的な財政運営

所管 財務情報課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政状況を表す各指標の推移に留意しながら、中期財政計画に基づく財政運営を計画的に実施します。</li> </ul>			
	○中期的な財政計画【重】			

年度別実施計画	R4年度（実績）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)	R6年度（計画）	事業費(千円)
	●市民向け予算資料の作成	478	●市民向け予算資料の作成	573	●市民向け予算資料の作成	573

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
財政力指数	-	0.8		0.74				0.77	0.77
実質公債費比率	%	0.6		未				3.0	3.0
標準財政規模に占める財政調整基金残高割合	%	21		18.1				20以上	20以上
一般財源における投資的経費に占める公共施設整備基金の割合	%	4.95		1.24				1以上	1以上

自己評価	目標達成に非常に効果的であった	令和3年度において令和4年度から5年間の財政シミュレーションを策定したところであるが、公共下水道や新庁舎建設等の大型事業が本格化していく中、今後の財政負担を見直す必要があることから、対象期間を令和5年度からの10年間として改めて試算を行った財政シミュレーションを策定した。今後の予算編成の基礎とするとともに、事業の進捗等に合わせ毎年見直しを行うこととする。
------	-----------------	--

外部評価		
------	--	--

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

② 財政運営

(4) 新地方公会計制度の導入・推進

所管 財務情報課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	・市民にわかりやすい情報を提供し、行財政の透明化を図ります。			
	○新地方公会計制度の導入【重】			

年度別実施計画	R4年度（実績）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)	R6年度（計画）	事業費(千円)
---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------

●新地方公会計制度財務諸表作成及び固定資産台帳の活用(コスト把握等)	3,474	●統一的な基準による財務書類作成及び固定資産台帳の活用(コスト把握等)	3,474	●統一的な基準による財務書類作成及び固定資産台帳の活用(コスト把握等)	3,474
------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
【参考指標】 新地方公会計制度 財務諸表作成（統一的な基準による）	-		財務4表作成	財務4表作成					
-	-	-	-	-				-	-

自己評価	目標達成に非常に効果的であった	引き続き、統一的な基準による令和3年度決算の財務書類4表の作成と、この財務書類の作成に必要な補助簿である固定資産台帳の更新を行った。今後は、作成した財務書類等を予算編成や施設管理に活用することが課題となる。
------	-----------------	---

外部評価		
------	--	--

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

③協働

(1) 魅力ある情報発信

所管 総合政策課・議会事務局

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標4-(3) 移住・定住の促進
--------	---	-------------------	--------------------

施策の内容	・若い世代の市政への関心を高めるため、まちづくりや市政に関する情報を積極的に提供する等、市民に伝えるべき情報と市民が欲しい情報とのバランスに留意しつつ、新たな情報提供手段による発信機会を充実します。			
	○情報発信充実事業【重】【創】(広報みずほ、ホームページ等による情報提供の充実、情報発信に関するガイドライン策定事業)			

主な事業	○情報発信充実事業【重】【創】(広報みずほ、ホームページ等による情報提供の充実、情報発信に関するガイドライン策定事業)			

年度別実施計画	R4年度(実績)		R5年度(計画)		R6年度(計画)	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
●情報発信の充実、発信	0	●情報発信の充実、発信	0	●情報発信の充実、発信	【調】	
●アプリを用いた広報紙の配信	898	●アプリを用いた広報紙の配信	960	●アプリを用いた広報紙の配信	【調】	
●議会映像配信	2,891	●議会映像配信	78	●議会映像配信		78

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
広報、ホームページの情報満足度(「満足している」と答えた人の割合)	%	20	16	15				30	35

自己評価	目標達成に効果があった 市広報紙においては、表紙写真をインパクトのあるものとし、類似する内容ごとに記事をまとめ、コラムを明確に分割するなど紙面構成の改善に努めた。また他市広報紙を参考として、特集記事のレイアウトを工夫するなどし、令和4年度に引き続き、令和5年全国広報コンクールの岐阜県代表に選出された。 市公式フェイスブックにおいては年間41回投稿を行い、のべ21,790人の閲覧者があり情報発信として一定の効果上があったといえる。アンケートにおける情報満足度(「満足している」と回答)の内容から、広報紙においてはイベント情報を求める声が多く、今後の紙面作成に反映させていく。 議会映像配信においては、令和4年第4回定例会から全ての本会議について、インターネットによるライブ配信を開始し、市民に議会と市政に関心を持っていただける機会を提供している。
------	---

外部評価	
------	--

# 基本目標2 便利で快適に暮らせる美しいまち

## ①都市基盤

### (2) 駅周辺の活性化

所管 総合政策課・都市管理課・商工農政観光課・穂積駅圏域拠点整備課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(2) 穂積駅周辺の活性化

施策の内容  
 ・ 地域住民の生活環境を踏まえつつ、JR穂積駅利用者の利便性に即した駅周辺の新たな賑わいづくりについて、市内商工業関係者等を交えながら事業計画等を策定し、駅利用者の利便性向上とこれに連動する商機喚起による地域の再生・活性化を促進します。

主な事業  
 ○JR穂積駅周辺整備事業【重】【創】  
 ○JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業【重】【創】

年度別実施計画	R4年度（実績）		R5年度（計画）		R6年度（計画）	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
●穂積駅圏域拠点化構想推進事業（ソフト部分）	66,923		●穂積駅圏域拠点化構想推進事業（ソフト部分）	16,263	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業（ソフト部分）	【調】
●区画整理促進調査等業務	(繰越) 19,011		●区画整理促進調査等業務	49,962	●区画整理促進調査等業務	【調】
●駅周辺交通機能等改善業務	4,672		●駅周辺交通機能等改善業務	5,698	●駅周辺交通機能等改善業務	2,816
●駅周辺交通機能等改善工事	29,379		●駅周辺交通機能等改善工事	76,890	●駅周辺交通機能等改善工事	45,572
●駅周辺交通機能等改善用地購入費及び補償費	104,327					
●駅周辺交通機能等改善用地購入費	(繰越) 11,524					

目標指標		単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
駅利用者の満足度		%	27.6	24.1	27.8				現状値から+5%	現状値から+10%

自己評価  
 目標達成に非常に効果的であった  
 基盤整備事業（ハード）の取り組みについて、「瑞穂市JR穂積駅周辺整備基本計画（案）」に対する説明会やパブリックコメントを実施し、意見への回答を行うとともに、整備基本計画を取りまとめ市民へ公表を行った。また、整備基本計画に示された優先的に整備するAエリアの基盤整備の事業化に向けて、地権者説明会1回と地権者による地権者協議会を組織し計3回の協議を行った。交通機能等改善については、旧JAぎふ穂積支店跡地に一般車乗降場及び市営穂積駅南第2駐車場の整備を行い、供用を開始した。また、別府交差点改良の事業用地を土地開発基金より取得した。今後も地域等との合意形成を図りながら、基盤整備等の実施に向けた取り組みを推進する。  
 ソフト事業の取り組みについて、JR穂積駅周辺まちづくり組織ExSite（エキサイト）がNPO法人化し、また瑞穂市との連携協定を締結したことにより、組織運営の充実とにぎわい創出活動の加速化が図られた。これにより駅周辺の魅力が向上し、駅利用者の満足度の増加に寄与した。

外部評価

# 総合戦略事業

一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業

所管 総合政策課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(2) 穂積駅周辺の活性化

**施策の内容**

・多くの方が行き交う瑞穂市の玄関口であるJR穂積駅周辺の活性化を行うため、多様な主体により練り上げられた穂積駅圏域拠点化構想の将来ビジョン” みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ ～圏域のプラットフォームとして ヒト・モノ・コトを つなぐ・つむぐ・むすぶ～」を実現するため、平成31年度までの期間目標を「地域・圏域への認知」と定め、平成29年度を「地域認知の向上と変化のはじまり」と設定、穂積駅の拠点としての認知向上と意識啓発、取組の見える化につながる初動的取り組みを重点的に実施する。

**主な事業**

- JR穂積駅圏域拠点化構想促進事業
- 駅周辺市民協働活性化事業
- JR穂積駅圏域拠点化PR事業

H29全体事業費23,728千円  
うち交付金対象事業費20,736千円  
うち交付金10,000千円

年度別実施計画	R4年度（実績）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)	R6年度（計画）	事業費(千円)
	JR穂積駅圏域拠点化構想事業推進事業	14,520	JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業	16,263	JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業	【調】

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
穂積駅乗降客数	人	18,686	15,054	16,246					
就業人口・労働力人口	人	26,730	27,347	27,347					
新規出店数	件	6	2	1					

**自己評価**

目標達成に効果があった

JR穂積駅周辺まちづくり組織ExSite（エキサイト）がNPO法人化され、社会的信用度の向上や組織体制が整備されたことにより、駅周辺の活性化や利便性の向上に向けた取組を実施する団体の組織基盤がより強固なものとなった。また、エキサイトと瑞穂市が連携協定を締結し、協働で駅周辺のまちづくりを推進していく体制を構築した。エキサイトが主催した弁当市やほづみ夜市などのイベントを通して、駅周辺ににぎわいを創出し、魅力向上を図ることで、交流人口が拡大に寄与した。IBJAぎふ穂積支店跡地について、基盤整備が実施されるまで、にぎわい創りの場所として利用できるよう一部を整備し、エキサイトと連携して駅周辺の魅力向上に向けた取組を加速させる。エキサイトという民間団体が地域目線でJR穂積駅圏域拠点化構想の実現を後押しすることで、地域の再生・活性化を促進し、また将来の基盤整備にも活かしていく体制の確立を目指す。

**外部評価**

# 基本目標5 活気あふれる元気なまち

## ②商工業

(1) 穂積駅周辺地域の商業活性化

所管 商工農政観光課・総合政策課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(1) 起業・創業の支援

施策の内容  
 ・交通結節点として多くの人が利用するJR穂積駅を活かし、周辺地域の商業活動の活性化を促進します。

主な事業  
 ○起業・創業者の育成支援事業【創】

年度別実施計画	R4年度（実績）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)	R6年度（計画）	事業費(千円)
	●創業者支援事業（商工会補助）	1,000	●創業者支援事業（商工会補助）	1,350	●創業者支援事業（商工会補助）	1,350
●瑞穂市中小企業・小規模事業者活性化補助事業	40,550					

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
起業・創業者数	人	1	9	12				現状値から+1	5年後から+10

自己評価  
 目標達成に相当程度効果があつた  
 創業支援等事業計画に基づく創業支援事業として、瑞穂市商工会において、創業塾を実施し、26名の参加があつた。（創業者は2名であつた。）中小企業・小規模事業者活性化補助を活用した創業者は10名であつた。

外部評価

# 基本目標5 活気あふれる元気なまち

## ③観光・交流

### (2) 地域資源のブランド創出・魅力向上

所管 総合政策課・商工農政観光課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標4-(1)観光力の向上
--------	---	-------------------	-----------------

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品である「富有柿」や、市内を横断する「中山道」、「美江寺宿」等を広くPRする等、まちの魅力や認知度を高め、移住や定住につながる地域資源のブランド化を図ります。</li> <li>・歴史探訪ネットワークの形成や歴史文化資源の保全・活用を図ります。</li> </ul>

主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ブランド戦略推進事業【重】【創】</li> <li>○瑞穂ブランドに関する情報発信事業</li> <li>○中山道PR事業</li> </ul>
------	--

年度別実施計画	R4年度（実績）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)	R6年度（計画）	事業費(千円)
	●地域ブランド戦略事業	4,146	●地域ブランド戦略事業	1,540	●地域ブランド戦略事業	【調】
●市PR用品作成事業	308	●市PR用品作成事業	106	●市PR用品作成事業	【調】	
●中山道観光振興事業	521	●中山道観光振興事業	870	●中山道観光振興事業	【調】	
●市の魅力発信情報サイトの充実	0	●市の魅力発信情報サイトの充実	0	●市の魅力発信情報サイトの充実	【調】	
●美江寺宿場まつり補助	0	●美江寺宿場まつり補助	1,500	●美江寺宿場まつり補助	1,500	

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
地域ブランド創出件数	件	4	4	1				4	5
瑞穂市の魅力度(アンケート調査で「魅力を感じた」と回答した人の割合)	%	40	-	-				60	70

自己評価	目標達成に効果があった	<p>【商工農政観光課】春と秋の期間中の休日に小簾紅園休憩所を有人化し、改修した園や整備したデジタルサイネージの案内を行った。大月地内の中山道の景観向上のための植栽を行った。(植栽4年目)美江寺宿場祭りはコロナの影響で中止となった。和宮遺跡保存会の自主イベントのPRを行った。</p> <p>【総合政策課】令和4年度4月にサンコーパレットパークが開園した。この施設を活用し、公営イベントだけでなく、民間主導のイベントが開催され、市民や圏域住民など多くの方々が来場されている。瑞穂市に人を呼び込み、魅力を発信する施設としてブランド化が図られたといえる。ここを拠点として中山道沿線の観光資源を繋ぎ、さらに魅力ある施設へと転換を図り、地域ブランドとしての位置づけをより強固なものとしていく。</p>
------	-------------	--

外部評価		
------	--	--



# 総合戦略事業

## 瑞穂市中山道団子化構想

瑞穂市中山道団子化構想

所管 生涯学習課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標4-(1)観光力の向上								
施策の内容	美江寺～大月～呂久までの中山道沿線に点在する特色ある地域資源を有機的にネットワーク化（中山道で串刺し＝中山道団子化構想）し、当該地域の魅力や認知度を高め、ブランド化を図っていくことで、市内だけでなく、市外からの交流人口を増やし、「ひと」が増えることで「しごと」を呼び、移住や定住につながるまちの好循環を生み出すことを目指す。										
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山道まちづくり基本構想策定</li> <li>民活導入可能性調査</li> </ul>										
年度別実施計画	R4年度（実績）	事業費(千円)	R5年度（計画）			事業費(千円)	R6年度（計画）			事業費(千円)	
	●瑞穂市中山道団子化構想	8,228	●瑞穂市中山道団子化構想			11,978	●瑞穂市中山道団子化構想			5,000	
目標指標			単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
地域横断組織に加入した事業者、民間活動団体の数			団体	6		2					
中山道大月多目的広場利用者数			人	45,000		32,708					
みずほバス乗客数（十九条古橋線）			人	15,300		4,865					
自己評価	目標達成に非常に効果的であった		基本構想の策定、まちづくり委員会を設立し、地域住民主体となって活動できる体制が整った。今後の計画では、委員会の独立を目指し、支援していく。また広場周辺を含む、民活導入可能性調査（指定管理者）で民間企業へのヒアリングを行った。その結果、現広場の周辺の整備不足等の課題が見えてきた。今後は指定管理を見据えた改修または整備を検討していく必要がある。								
外部評価											

# 基本目標4 夢あふれ希望に満ちたまち

## ②学校教育

### (4) 確かな学力を育成する教育の推進

所管 学校教育課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標1-(3) 教育力の向上

施策の内容  
 ・児童生徒の「生きる力」の基盤となる、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養を目指す教育を充実します。

主な事業  
 ○学力向上推進事業【重】【創】

年度別実施計画	R4年度（実績）		R5年度（計画）		R6年度（計画）	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
●学力向上推進教師、研究主任に対する研修会の実施	0		●学力向上推進教師、研究主任に対する研修会の実施	0	●学力向上推進教師、研究主任に対する研修会の充実	0
●学校訪問等による指導改善に向けた指導	0		●学校訪問等による指導改善に向けた指導	0	●学校訪問等による指導改善に向けた指導	0
●各校研究実践の公表会、発表会の実施	241		●各校研究実践の公表会、発表会の実施	328	●各校研究実践の公表会、発表会の実施	0
●ICT活用による学びの改革	0		●ICT活用による学びの改革	8,664	●ICT活用による学びの改革	8,664

目標指標	単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
【全国学力テスト(質問紙調査)】授業内容がよく分かると考える児童生徒の割合(当てはまる+どちらかという当てはまる) 小6	%	84.0	85.7	84.7				87	87
【全国学力テスト(質問紙調査)】授業内容がよく分かると考える児童生徒の割合(当てはまる+どちらかという当てはまる) 中3	%	77.8	81.4	79.5				80	80

自己評価  
 目標達成に効果があった  
 ・学力向上推進会議で、学力向上の効果的な取組について学んだり、各校の実践について交流したりすることを通して、各校の学力向上の取組が充実した。  
 ・学校訪問を通して、児童生徒の学力向上の取組や教員の指導力向上の取組に対して指導助言をした。  
 ・各校の研究発表会や公表会では、学校訪問での指導助言を生かした実践が公開された。

外部評価

# 基本目標4 夢あふれ希望に満ちたまち

## ②学校教育

### (6) 教職員の指導力向上の取組の充実

所管 学校教育課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 -

施策の内容  
 ・教職員の勤務環境の改善を図るとともに、若手教員をはじめとする研修事業や相談事業等を推進することにより、教職員の資質向上を図り、教育指導体制を一層充実します。

主な事業  
 ○教員研修事業【重】  
 ○教職員の勤務環境の改善事業

年度別実施計画	R4年度（実績）	事業費(千円)	R5年度（計画）	事業費(千円)	R6年度（計画）	事業費(千円)
	●教職員研修の実施	66	●教職員研修の実施	186	●教職員研修の実施	【調】
●勤務環境の改善事業	7,791	●勤務環境の改善事業	8,951	●勤務環境の改善事業	【調】	

目標指標		単位	R2(基準)	R3(実績)	R4(実績)	R5(実績)	R6(実績)	R7(実績)	R7(目標)	R12(目標)
【全国学力テスト(質問紙調査)】授業内容がよく分かると思える児童生徒の割合 小6		%	84.0	85.7	84.7				87	87
【全国学力テスト(質問紙調査)】授業内容がよく分かると思える児童生徒の割合 中3		%	77.8	81.4	79.5				80	80

自己評価  
 目標達成に効果があった  
 ・若手教員に対して、教職員研修指導員や学校教育課の指導主事がマンツーマンで指導助言を定期的に行う若手教員支援研修を実施したことで、若手教員の意欲や指導力向上とともに、学校現場を支援することができた。  
 ・ミドルリーダー研修を実施することを通して、ミドルリーダーの自覚を促すことや学校運営の一翼を担う人材の育成につなげることができた。  
 ・令和3年度策定「教職員の働き方改革3カ年計画」に各学校で重点項目を決め取組を進め、管理職の労務管理意識を高め教職員自らも自身の「働き方」を見直し、勤務時間の減少につなげたり、自己研鑽の時間を生み出したりすることができた。また、ICTを有効に活用し授業準備や担当業務などの負担軽減ができた。

外部評価